

桜らんまん、でうきうき



4月3日 第45回下妻砂沼桜まつり(砂沼広域公園・観桜苑で)

発行/下妻市長公室秘書課 ☎0296-43-2111  
〒304-8501 茨城県下妻市本城町2-22  
印刷/富岡印刷所

URL <http://www.city.shimotsuma.lg.jp/>  
E-mail [info@city.shimotsuma.lg.jp](mailto:info@city.shimotsuma.lg.jp)  
広報しもつまは、資源保護のための再生紙を使用しています。



ようこそ!  
花のまちしもつまへ



同日開催

2016  
5/15日  
予備日  
5月22日(日)

## 第25回花とふれあいまつり

## 第20回 Eボート大会 茨城県大会

鬼怒川流域交流 Eボート大会  
時間 AM10:00~PM3:00 場所 鬼怒フラワーライン

### イベント会場アクセスMAP & シャトルバス運行時刻表



花とふれあいまつり無料シャトルバス運行時刻表 平成28年5月15日(日)						
停留所	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便
下妻駅発	9:00	10:00	11:00	13:00	14:00	15:00
鬼怒フラワーライン着	9:20	10:20	11:20	13:20	14:20	15:20
下妻駅発	9:30	10:30	11:30	13:30	14:30	15:30
下妻駅着	9:50	10:50	11:50	13:50	14:50	15:50



■花とふれあいまつり/主催:花と一万人の会  
■Eボート大会/主催:下妻市、下妻市ふるさとづくり推進協議会、鬼怒川流域交流Eボート大会実行委員会  
■問合せ先/下妻市商工観光課 TEL0296-44-0732

平成28年度市長施政方針

市民が「本当に良いまちになってきた」と実感できるまちづくりを目指して

下妻市長 稲葉 本治



昨年9月に発生した関東・東北豪雨では、過去に例のない大雨が鬼怒川沿川に降り、本市でも鬼怒川の越水により、約260戸の家屋が床上・床下の浸水被害を受け...

私 が市政の舵取りを託されてから、2期6年が経過しようとしています。この間、まず第一に市の財政健全化に取り組み、危機的な状況から脱するとともに、災害に強いまちづくりを推進するため、学校、幼稚園、保育園の耐震化とリニューアルを進めてまいりました。その他、下妻ブランドの確立や積極的な企業誘致、砂沼周辺地区の開発、市内インフラ整備などの施策にも取り組んできました。おかげさまで、これまで重点施策も順調に進捗し、下妻市が県西地区の雄を目指し、確実に歩んでいるものと考えております。

人口減少と超高齢化社会といった課題に取り組み、政府が打ち出した「地方創生」につきましては、本市でも「下妻市まち・ひと・しごと創生有識者会議」などにおいて検討を重ね、間もなく「下妻市人口ビジョン」ならびに「下妻市総合戦略」が策定となり。今後、総合戦略に掲げた重点施策を積極的に推進し、働きやすい環境づくり、子育てしやすい環境づくりを進め、「住んで良かった」「これからの住み続けたい」と思われるようなまちを、市民の皆さまと共に創り上げていきたいと考えております。

人 口減少と超高齢化社会といった課題に取り組み、政府が打ち出した「地方創生」につきましては、本市でも「下妻市まち・ひと・しごと創生有識者会議」などにおいて検討を重ね、間もなく「下妻市人口ビジョン」ならびに「下妻市総合戦略」が策定となり。今後、総合戦略に掲げた重点施策を積極的に推進し、働きやすい環境づくり、子育てしやすい環境づくりを進め、「住んで良かった」「これからの住み続けたい」と思われるようなまちを、市民の皆さまと共に創り上げていきたいと考えております。

その重点施策の一つとして、積極的な企業誘致があげられますが、昨年、つくば下妻第2工業団地の最後の区画で1社が操業を開始しました。これにより、市内の工業団地は全て埋まり、新たな雇用も生まれていきます。今後は、これまで誘致した企業へのサポートを続けるとともに、新たな工業用地の確保に向けた取り組みも行ってまいります。また、昨年9月には、「道の駅しもつま」がリニューアルオープンしました。今回のリニューアルで農産物直売所を本館中心部に移設し、新たに焼き立てパンを販売する「しもんばん」を展開するなど、これまでの道の駅から一新したことにより、来場者、特にリピーターが増え、大変好評を博しているところです。今後「道の駅しもつま」や「やすらぎの里しもつま」を、本市の観光・情報発信の拠点として活用し、積極的な観光客誘致を推進してまいります。加えて、郊外へ向きがちな人流を、都市再生整備計画事業による砂沼周辺地区の開発

その重点施策の一つとして、積極的な企業誘致があげられますが、昨年、つくば下妻第2工業団地の最後の区画で1社が操業を開始しました。これにより、市内の工業団地は全て埋まり、新たな雇用も生まれていきます。今後は、これまで誘致した企業へのサポートを続けるとともに、新たな工業用地の確保に向けた取り組みも行ってまいります。また、昨年9月には、「道の駅しもつま」がリニューアルオープンしました。今回のリニューアルで農産物直売所を本館中心部に移設し、新たに焼き立てパンを販売する「しもんばん」を展開するなど、これまでの道の駅から一新したことにより、来場者、特にリピーターが増え、大変好評を博しているところです。今後「道の駅しもつま」や「やすらぎの里しもつま」を、本市の観光・情報発信の拠点として活用し、積極的な観光客誘致を推進してまいります。加えて、郊外へ向きがちな人流を、都市再生整備計画事業による砂沼周辺地区の開発

も引き続き進めてまいります。沼を眺望できるカフェレストランや屋根付の多目的広場の整備により、本市の観光資源の活用とシティ・プロモーションを推進し、市民の憩いの場のみならず、安全で安心な場所としても活用してまいります。これら施設の有効利用を図り、市外の方にも本市の良さを知らせていただくことで、観光客の誘致ならびに市外からの定住促進も図ってまいりたいと考えております。さらに、「健康都市しもつま」づくりのため、これら新たな施設に加え、「砂沼荘」や「ピアスパークしもつま」筑波パーク」などを有機的に活用し、砂沼を生かしたウォーキングや自転車による周遊など、本市の住み良さが実感できる環境づくりを進めてまいります。そして、市民の皆さまが「本当に良いまちになってきた」と実感できるようなまちづくりを、全力で進めてまいります。

も引き続き進めてまいります。沼を眺望できるカフェレストランや屋根付の多目的広場の整備により、本市の観光資源の活用とシティ・プロモーションを推進し、市民の憩いの場のみならず、安全で安心な場所としても活用してまいります。これら施設の有効利用を図り、市外の方にも本市の良さを知らせていただくことで、観光客の誘致ならびに市外からの定住促進も図ってまいりたいと考えております。さらに、「健康都市しもつま」づくりのため、これら新たな施設に加え、「砂沼荘」や「ピアスパークしもつま」筑波パーク」などを有機的に活用し、砂沼を生かしたウォーキングや自転車による周遊など、本市の住み良さが実感できる環境づくりを進めてまいります。そして、市民の皆さまが「本当に良いまちになってきた」と実感できるようなまちづくりを、全力で進めてまいります。

平成28年第1回下妻市議会定例会(平成28年3月4日)

下妻市民 4万3,011人の予算

平成28年4月1日下妻市常住人口

平成28年度一般会計予算179億3,500万円

特別会計、水道事業会計を含む総額は307億9,851万5千円

平成28年第1回下妻市議会定例会(3月議会)で、下妻市の平成28年度当初予算が決まりました。一般会計の予算額は179億3,500万円で、前年比5.6%の増。特別会計と水道事業会計を合わせた予算の総額は307億9,851万5千円で、前年比2.9%となっています。第1回下妻市議会定例会での市長施政方針と第5次下妻市総合計画に基づいた主な予算について紹介します。

平成28年度当初予算の総括

Table with 4 columns: 区分, 今年度予算額, 前年度予算額, 増減率(%). Rows include 一般会計(1), 特別会計 (国民健康保険, 後期高齢者医療, 介護保険, 介護サービス事業, 下水道事業, 砂沼サンビーチ, 計(2)), 水道事業会計(3), and 合計(1)+(2)+(3).

## 平成28年度予算の概要

主な事業とその予算額を、第5次下妻市総合計画の5つの柱に基づき紹介します。

標記：○新規 ○拡充 ◇継続  
※表示金額は、万円未満を四捨五入して表示しています

### 地域で支えあいやさしく暮らせる 安全安心都市を目指して

【保健・医療・福祉・防災等の推進】

○学童保育事業	3,643万円
○小規模保育事業	2,726万円
○民間保育所等乳児等保育事業	426万円
○ひとり親家庭等高等職業訓練促進給付金等支援事業	240万円
○生活相談員配置事業	304万円
○きずなメール事業	70万円
○住民情報系システムクラウド化事業	2,250万円
○避難所用備蓄資器材の確保	332万円
○防災行政無線メール配信事業	143万円
○姉妹都市交流事業	200万円

### 豊かな自然に囲まれた 生活環境都市を目指して

【生活環境、都市基盤の整備】

○立地適正化計画策定事業	1,080万円
○公園遊具修繕工事	595万円
○砂沼周辺都市再生整備計画事業	11億4,061万円
○コミュニティバス運営事業	400万円
○地域公共交通活性化協議会負担金	565万円
◇道路・側溝等の整備事業	5億6,520万円
◇合併処理浄化槽設置助成事業	2,032万円
◇ごみの減量化・再資源化事業	2,988万円



砂沼周辺都市再生整備計画事業の砂沼エントランス(仮)完成イメージ

### 人が生き生きと心豊かに暮らす 文化創造都市を目指して

【教育・文化の振興】

◇学力向上対策事業	2,231万円
◇社会人TT講師配置事業	1,827万円
○下妻中学校改築事業	11億1,752万円
○柳原球場改修工事	5,595万円
○国体推進事業	418万円
○ふるさと博物館災害復旧事業	1億2,284万円



下妻中学校改築事業の新校舎完成イメージ

### 快適に働く場がととのった 産業活力都市を目指して

【産業の振興】

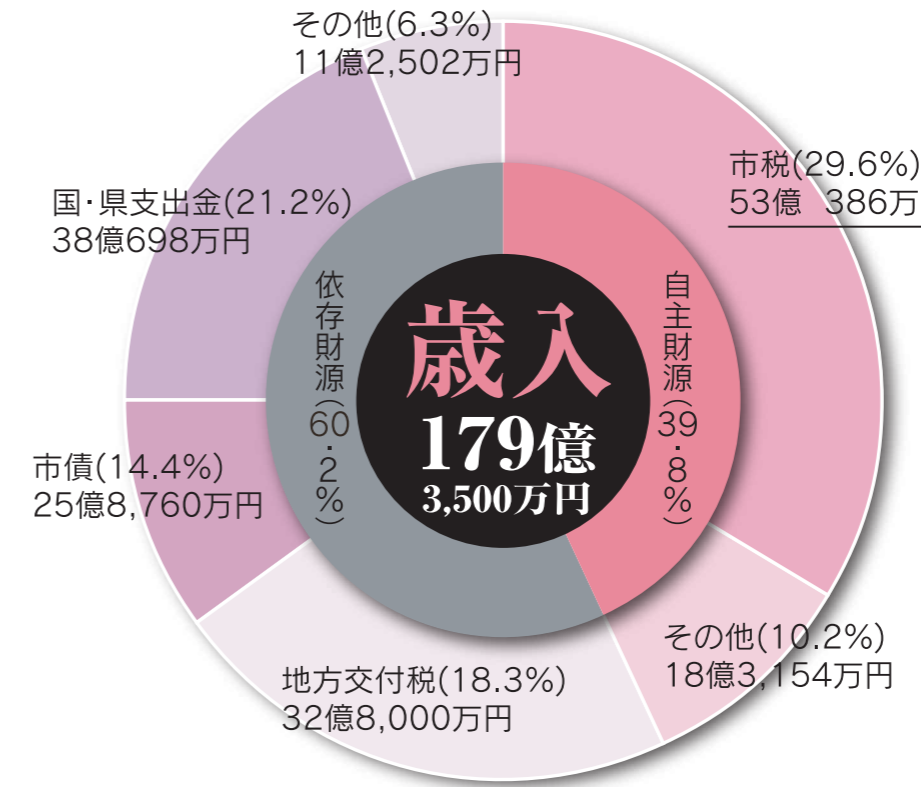
◇下妻のPR・活性化活動事業	75万円
○ピアスパークしもつま管理運営事業	6,000万円
◇新規就農・経営継承総合支援事業	3,600万円
◇ほ場整備事業	5,864万円
◇中小企業事業資金利子補給等	4,940万円

### ともに力をあわせてすすむ 自立協働都市を目指して

【行財政運営】

◇公共施設等総合管理計画策定事業	1,800万円
○第6次総合計画策定事業	480万円
◇第3次男女共同参画推進プラン策定事業	340万円
◇広域葬斎場及びし尿処理場の運営	1億598万円
◇広域ごみ処理施設の運営	4億3,973万円

# 179億3,500万円の使いみち 一般会計

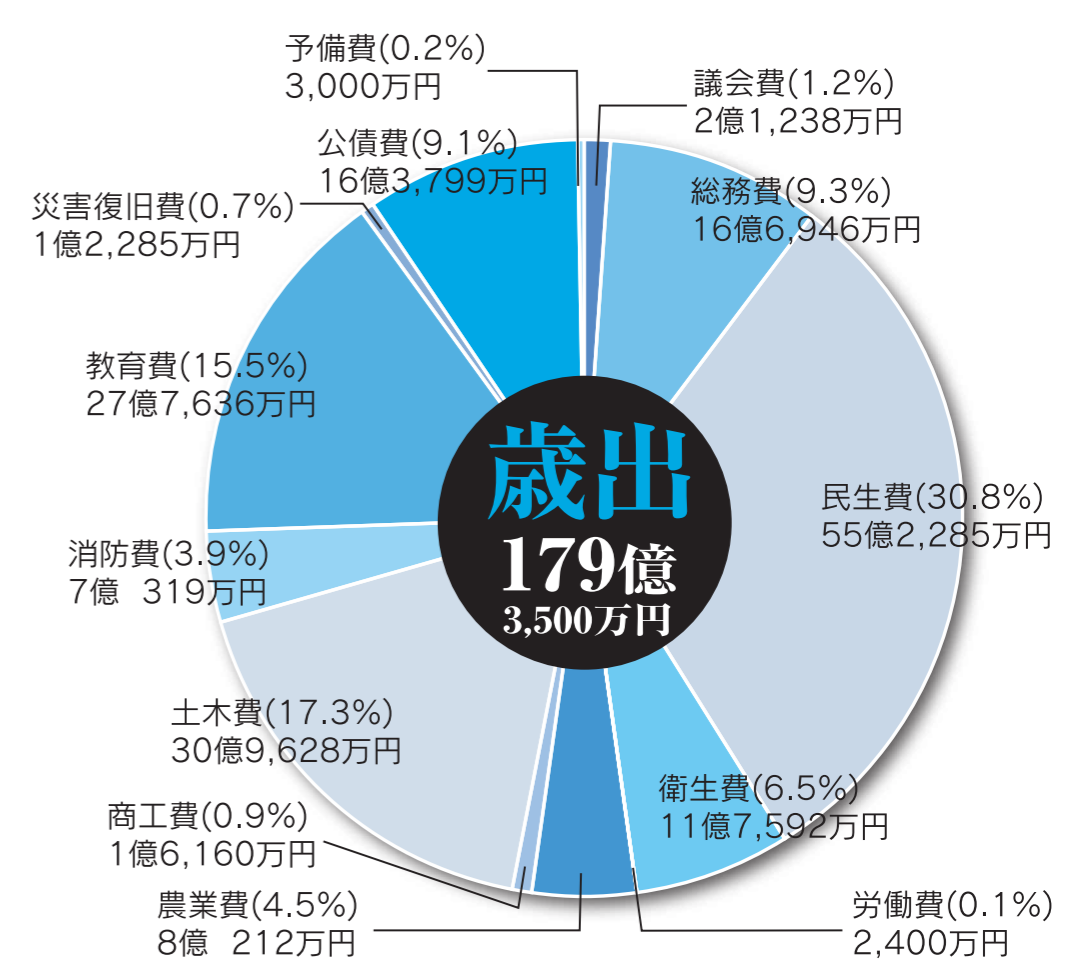


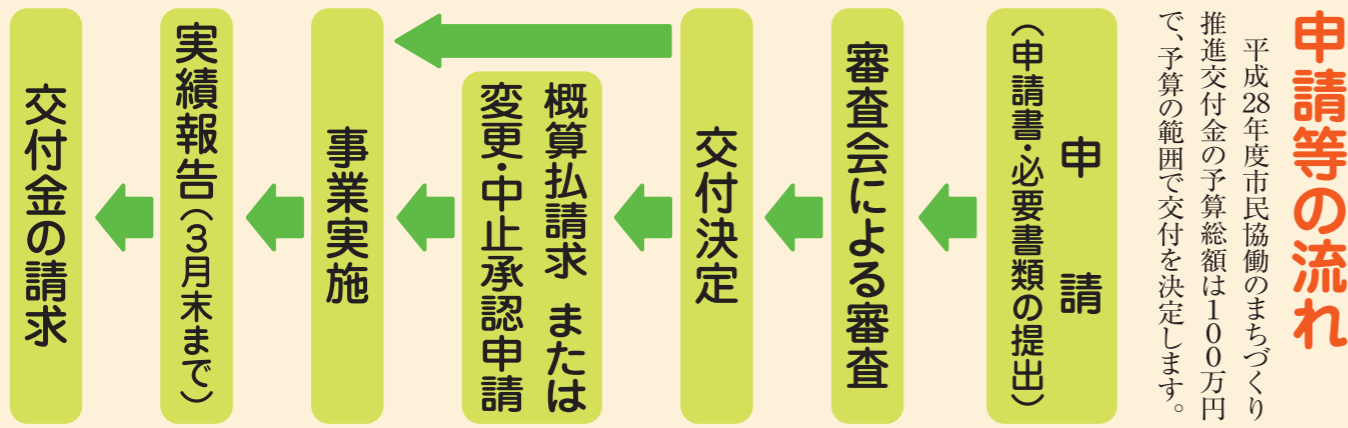
いくらか入ってきて、  
何にいくらか使うのか。  
予算をお知らせすることで  
1年間のまちづくり計画を  
皆さんに知っていただけます。

【市税の内訳】

固定資産税	24億5,880万円
市民税	23億5,657万円
たばこ税	3億5,700万円
軽自動車税	1億1,949万円
入湯税	1,200万円

▶歳入は「自主財源」と「依存財源」に分けることができます。  
▶自主財源は、市が自主的に収入にすることができる財源のことで、市税、分担金・負担金、使用料・手数料などがあり、これが多いほど行政活動の自主性と安定性を確保できます。平成28年度の一般会計では約71億円(39.8%)となっています。  
▶依存財源は、地方交付税や市債、国・県支出金などで、今年度は一般会計では約108億円(60.2%)となっています。





平成27年度下妻市市民協働のまちづくり推進交付金【実績】

No.	団体名	事業名 および 事業内容	総事業費	対象経費	交付額	備考
1	下田自治会	<下田自治会環境美化事業> 雑草が生い茂った高木川沿いの道路の除草作業を実施し、除草後に花の種を蒔いて、環境美化事業を実施する。	40,235	40,235	26,000	申請1年目 2/3補助
2	別府コミュニティセンター運営委員会	<高齢者とのそば会> 地域の高齢者を招待して、そばを打ちながら世代交流を持ち、見守り活動を行う。	29,722	29,722	9,000	申請3年目 1/3補助
3	数須自治会	<数須地域交流祭> 世代を超えた老若男女が集い、お雑子・茶道体験を実施することで、地域の良さを再確認し、伝統文化を継承する。	157,646	157,646	100,000	申請1年目 2/3補助
4	蚕飼地区まちづくり推進委員会	<地域交流イベント開催事業> 地域住民でやすらぎの里公園をイルミネーションによる装飾を行い、あわせてクリスマス会を開催する。	215,630	164,861	50,000	申請3年目 1/3補助

※平成28年度から助成期間・率が拡充され、申請3年目から5年目まで補助率が2分の1になります。

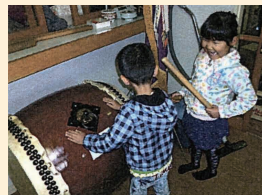


除草後に種まき、コスモスが咲きました

事業前

**下田自治会環境美化事業**  
「下田自治会では、道路沿いの除草を行った後、花の種を蒔いて、環境美化事業を実施しました。最初は、手探りではじめましたが、やっつけていくうちに積極的な活動になり、身近な環境が明るくなりました。今後も事業を継続し、きれいな花をたくさん咲かせ、地域の活性化につなげたいです」。  
(野部博元区長)

**地域・世代交流事業**  
「数須自治会」や「蚕飼地区まちづくり委員会」では、世代交流や地域交流を目的としたイベント事業を実施しました。  
これらの交流事業を通じて、地域コミュニティの活性化や地域力の向上が図られています。



**高齢者とのそば会**  
「別府コミュニティセンター」運営委員会では、平成25年度から交付金を利用して、高齢者とのそば会を開催しています。ひきこもりがちの高齢の方に、ふれあいや交流のための場をつくり、打ちそばやおしゃべりを通じて、楽しいひとときを過ごしてもらおうことを目的としています。『近所でも、何年も会っていない人と久しぶりに話ができ、楽しかった』との参加者の声もあり、継続的に事業を実施しています」。  
(高橋節雄委員長)



平成27年度の事例紹介



数須自治会での世代交流事業(茶道体験)

**市民協働のまちづくり推進交付金とは**  
市民協働のまちづくり推進交付金は、地域の活性化や地域の課題解決のために、市民活動をはじめの方を応援する仕組みです。  
この交付金を利用し、さまざまな活動が行われており、それぞれの得意分野やアイデアを生かし、力をあわせることで、身近な課題解決や地域力の向上につながっています。  
市民の皆さんが集い、新たな事業や活動をはじめめる場合は、市民協働課までお問い合わせください。

？ どんな団体・活動が対象になるの？

どんな団体？

次の(1)と(2)を満たす団体  
(1)市内で活動する10人以上の構成員からなる団体で、その過半数が市内在住・在勤・通学している。  
(2)規則・会則等があり、団体の運営方針・活動内容等が明確である。  
※宗教活動、政治活動、選挙活動等を目的としている団体は対象外になります。

どんな事業・活動？

地域の活性化や課題解決につながる公共性のある新規事業で、持続的な効果が期待できるもの。  
【活動事例】  
地域交流イベント、高齢者とのそば会で世代交流、砂沼のイルミネーション事業、道路沿いの除草を行って花を植える活動、健康づくり教室や子育てのためのイベント事業、吹奏楽団の演奏会による交流活動 など  
※物品購入や施設等の修繕を目的としたものは対象外になります。

交付金の額は？

1団体につき、事業費の3分の2以内で10万円まで交付します。  
同一事業を継続される場合、5年目まで交付ができませんが、2年目は事業費の2分の1以内で7万円まで、3年目以降は事業費の2分の1以内で5万円までになります。  
※交付対象外の経費がありますので、詳細はお問い合わせください。

問い合わせ 市民協働課 ☎43-2114



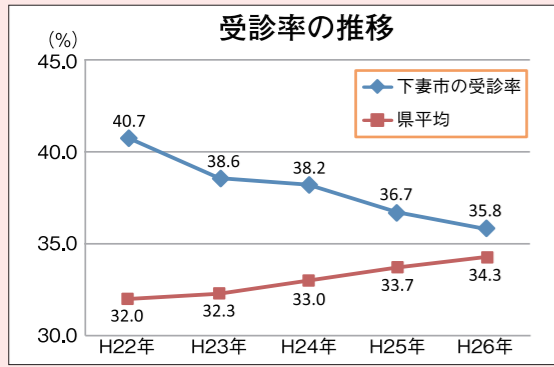
やすらぎの里公園での地域交流事業(イルミネーション)

市民活動をはじめめるあなたを応援します  
市民協働のまちづくり推進交付金

「市民協働」は、少子高齢化や人口減少が進行する中、さまざまな見識や得意分野を持つ市民や団体が協力しあひ、豊かで住みよいまちを実現するための取り組みです。  
市では、市民協働のまちづくりのために、平成24年度から「市民協働のまちづくり推進交付金」による助成を行っています。

# 年に1度の健康チェック 『特定健診』を受けに行こう! 受けてますか? 早めが肝心! 健康診断

問い合わせ 保健センター ☎43-1990



## 「国民健康保険」ご利用の皆さんへ

### ■ 受診率が低い特定健診 (40〜74歳の方の健診)

下妻市の過去5年間の受診率は、県平均よりは高いものの年々減少しています。特に働き盛りの40代、50代の人の受診率が低い状況で、40代、50代の人には4人に1人しか受診していないのが現状です。

40代を過ぎると生活習慣病を発症する方が増えてくることから、「健診を受けていない」という方は、特定健診を受けて健康をチェックしましょう!

特定健康診査(特定健診)は、市民の皆さんが加入する健康保険が実施し、40歳から75歳未満のすべての人が対象です。会社員の方は、定期的に健康診断を受けている方が多い中で、自営業や主婦の方の中には「しばらく受けていない」という方もいるのではないのでしょうか。今月号では、「なぜ特定健診が必要なのか」を、受診者の声を含めて健診の大切さについて紹介します。

特定健診は、生活習慣病の発症や、重症化を防ぐためにメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)予防に重点をおいた健診です。

メタボリックシンドロームは、糖尿病や脂質異常症、高血圧などの疾患に深く関わることで分かっています。やっかいなことにこれらの疾患は、初期には自覚症状がほとんどみられないのが特徴で、自覚症状がないまま病状が進んでいきます。そう、「ある日突然」「運悪く」ではないのです。皆さん、自分の体は大丈夫と過信してはいませんか。

### ■ 予防の第一歩は、体の「SOS」を見つけてね!

生活習慣病は、健康的な生活を続けていれば予防できる病気です。そして、生活習慣病予防のための『検査』が『特定

健診』です。健診は自覚症状がなく元気な若いうちから受けるという意識と習慣が大切です。すでに治療中の方でも治療中の疾病以外の危険因子発見に役立つ場合が多いので、ぜひ活用してください。今以上に悪くしない、重症化しないよう心がけましょう。かかりつけの医療機関でも特定健診が受けられる場合がありますので、病院に確認してください。

### ■ 健診を受けてからが大事です

健診は受診して終わりでも、結果を見て「喜ぶ」憂して終わりではありません。結果から見てくる体の「SOS」に着目し、自身の健康管理にいかに関用するかが大切です。結果が悪くても「症状がない」と放っておかずに、生活習

### ■ 健診後は保健センターのスタッフがサポートします

市の保健師や栄養士が結果に応じて支援します。

① 健診を受けた人に、気になる結果を説明します。(健診結果説明会)

② メタボリックシンドロームの危険性が高い人や危険が出てきた方に、個別に案内をします。(特定保健指導)

③ 「特定保健指導」の対象とならない人にも、結果に応じて重症化予防などを目的にサポートを行っています。

### ■ 市の集団健診は5月・6月・9月に集中して行います

市の特定健診の対象者には、4月末日頃までに『特定健診受診券』を郵送する予定です。日程は、平成28年度下妻市保健センター予定表またはホームページで確認してください。なお、国民健康保険以外の社会保険等に加入の方は、各社会保険等の実施する特定健診が受けられますので、会社等にお問い合わせください。

## 受診者の声



### データを残して健康管理

山口 政志さん (44歳・下妻乙・峰)

30代の頃は仕事や子どもの行事が優先でした。妻が健診を受けていたのと、知人がガンにかかったのがきっかけで40歳から健診を受けるようになりました。自分は健康だと思っていても実際には血液検査でHbA1c(グリコヘモグロビン)数値が高く、気になっています。届いた結果をipadに画像で保存して管理しています。結果票が過去4年分と比べられるようになっていて、変化が見えるのがいいですね。少しでも数値を良くしたくて、玄米を食べるようにし、食事に気をつけるようになりました。子どもの行事には全部出たいので、家族のために健診を受けています。

### 健診は毎年の行事

早乙女 芳雄さん (65歳・下妻丙・大町)

大町地区は毎年9月が健診の月。昔から行くものと思って必ず受けています。90歳と88歳の両親がおり、両親より先に病気になるわけにいかず、健康には気をつけています。自分では元気なつもりでも、健診を受けてみると数値が良かったり、悪かったりする。気になる時は、健診後の結果説明会が保健センターであるので行っています。説明会で話を聞いて、毎日体重を計り記録するようにしました。最初は面倒だと思ったが、今では日課になっています。私の健康の秘訣は、毎年の健診と、時々ウォーキング、釣りをしたりしてストレスを溜めないことです。

### 下妻市で行う健診の対象者(平成29年3月31日現在の年齢)

対象者	保険証の種類	健診の種類
39歳以下	関係なし	市の基本健診
40~74歳	社会保険(本人) (家族)	加入保険組合で行う特定健診 加入保険組合または市の健診
	国民健康保険	市の特定健診/医療機関健診
75歳以上	後期高齢	市の基本健診

慣を改善することや、病院で精密検査を受けることが重要です。健診で体の健康状態を把握し、結果と生活習慣を照らし合わせて改善を行うなど自分の健康を守るために行動をしましょう。

有料広告欄

有料広告欄

有料広告欄

有料広告欄

## 「下妻市地域包括ケアシステム づくりに向けた講演会」開催

市では少子高齢化に伴う介護・医療を取り巻く問題を乗り越えていくため、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう「医療・介護・予防・住まい・生活支援サービス」などのサービスを一体的に提供される仕組みと地域づくりの取り組みを目指し、「下妻市地域包括ケアシステムづくりに向けた講演会」を3月13日、千代川公民館ホールで開催しました。

講師に茨城大学社会連携センター准教授の長谷川幸介氏と茨城大学協働のまちづくり研究会の外岡仁氏の両氏を迎え、「地域包括ケアとこれからの下妻市民の幸せ装置」と題した講演会に、市民など99人が参加しました。

離れて暮らしながら母親の認知症を見てきた長谷川氏は「『血縁』の介護に加えて、地域で暮らし、見守られてきた『地縁』『友縁』『職縁』の4つの縁のつながりが重要」と話し、「人口減少社会の中で医療や介護、行政、民間、ボランティアが自主的に助け合える地域づくりを進め、それぞれが繋がっていくことでセーフティネットになる」と訴えました。

参加者からは「地域のつながりの大切さを改めて感じた。自分でできること広げていく努力をしたい」との感想がありました。



掛け合いながら講演を進める長谷川氏(右)と外岡氏(左)

## 自殺対策の普及啓発 「こころの健康づくり講演会」開催



講演で積極的に関わる大切さを訴える茂さん (写真:常陽リビング社提供)

3月の「自殺対策強化月間」の一環として市は、市民に自殺対策の普及啓発を行い、誰もが健康で安心して暮らせるまちづくりを目指そうと「こころの健康づくり講演会～STOP!!自殺 東尋坊の命の灯台“茂さん”からのメッセージ～」を2月14日、千代川公民館ホールで開催しました。

参加した市民など約80人は、福井県の東尋坊で自殺企図者の保護活動を11年間続けてきたNPO法人心に響く文集・編集局理事長の茂幸雄さんの警察官時代からの体験談や保護した自殺企図者の心の叫びなどに耳を傾けました。

「自殺防止活動は人命救助です」と語気を強める茂さん。東尋坊で仲間とパトロール活動を続ける中で「まず一歩を踏み出す。待っていてもダメ。進んで声かけを」と、待ちの姿勢ではなく積極的に話し掛け、保護した人には「寄り添い、ともに考え、孤立させない。一緒に歩むことが大切」と訴えました。

参加者した30代男性からは「積極的に関わることの大切さ。そこに自殺企図者との信頼関係が生まれるのだと思った」と話がありました。

## スポーツと防災の拠点施設「下妻市立総合体育館」がリニューアルオープン

耐震改修工事が完成した「下妻市立総合体育館」が3月26日、市のスポーツと防災の拠点施設として装い新たにリニューアルオープンしました。

同体育館は昭和56年1月建築で、市のスポーツ拠点として利用される中、災害時の避難所としての耐震化や雨漏りなど築35年による老朽化が課題となっていました。平成27年6月から約8か月間の工事で、建屋が耐震化されたほか、LED照明での省電力化や床の張替、3分100円で利用できる温水シャワー、災害時の避難所として機能するよう入口付近に共有スペースが整備されるなど安全性と利便性が高まりました。

リニューアルオープン式典で青柳教育長は「古い建物だったが耐震化が完了し、安心して利用していただけるようになった。未永く活用していただきたい」とあいさつ。リニューアル記念近隣中学校バスケットボール大会に出場する選手たちも式典に参列し、新たな門出を祝

いました。一般利用は4月1日からで、予約などは従来どおり同体育館に電話予約または直接申込になっています。

問い合わせ 総合体育館 ☎43-7296



リニューアルオープンした下妻市立総合体育館(外観・南側)

## 行政改革の進捗状況をお知らせします

市では、平成23年度に策定した「第4次下妻市行政改革プラン2011-2015」に基づき、行政改革に取り組みました。

このたび、平成27年12月末時点の行政改革の進捗状況の取りまとめが完了し、市民の代表で構成される行政改革懇談会にて進捗状況の報告をしました。その概要は次のとおりです。

### 平成27年度中の主な取り組み〔抜粋〕

#### ■より良い広報紙の作成

自治区長等を通じて各戸への配布をはじめ、大型店舗や公共施設等に特設スタンドを設置して配布率向上に努めている。さらに、市ホームページやツイッター、フェイスブックを活用して広報紙発行をお知らせし、インターネット上から広報紙を閲覧する機会を提供している。

#### ■財政計画の策定

経済状況により地方税収入は変化するが、現行の制度などから歳入の見通しを立てて、市の中長期における事業計画を把握している。

#### ■ジェネリック医薬品の利用推進

国保総合システムの稼働により、現在使用している医薬品をジェネリック医薬品に切り替えた場合に、安

くすることができる自己負担額をお知らせする差額通知の作成が可能となったため、年2回から年4回に通知の発送回数を増やした。

### 評価基準と平成27年12月現在の取組状況

区分	件数	比率(%)
完了	2	2.3
実施	73	85.9
取組中	10	11.8
合計	85	-

※報告書の詳しい内容は、市ホームページで公開しています。また、企画課企画調整係(本庁舎2階)窓口でも閲覧できます。

問い合わせ 企画課 ☎43-2113



慎重な審議が行われた行政改革懇談会(3月3日、市役所本庁舎で)

### 公正で効率的な行政運営の確保

## 監査委員の選任

平成28年第1回市議会定例会において、中山政博氏(鎌庭)を市議会選出の監査委員に選任することが同意されました。

監査委員は、公正な立場で、市関係機関の財務に関する事務が適正かつ効率的に行われているかを監査します。



中山 政博氏 (鎌庭)

### 消防・防災

## 下妻市消防団第6分団第3部の 消防団詰所を改築

老朽化に伴う改築工事が完了した下妻市消防団第6分団第3部の消防団詰所で3月1日、引渡式を行いました。

新しい消防団詰所は、鉄骨造2階建て、延べ床面積65平方メートル。同敷地内には電動式ホース乾燥塔も新たに整備されました。

引渡式には地元の消防団員をはじめ、自治区長、市議会議員、下妻消防署員など関係者20人が参加。稲葉市長から鍵を渡された大月武史第6分団長は「設備が整い活動しやすくなった。市民の生命・財産を守るため、今まで以上に頑張ってもらいます」と力強く語りました。



設備、機能が拡充された新消防団詰所

# まちのわだい

Town Topics

## 旅立ちの春

### 市内各小・中学校で卒業式

市内各中学校で3月10日、卒業式が行われ、452人の生徒が新たな道へと旅立ちました。

下妻中学校では、保護者や在校生が見守る中、お別れの言葉で3年間の思い出がスクリーンに映し出されると、会場からすすり泣く声が聞こえてきました。いつも一緒だった同級生や先生とも離れ、新たな人生の幕開けを迎えた卒業生は、未来をしっかりと見定め、学び舎に別れを告げました。

また、3月22日には市内各小学校で卒業式が行われ、433人の児童が次のステージへと歩みを進めました。



一人一人に卒業証書が手渡されました(下妻中学校)



学び舎に別れを告げる卒業生全員の合唱(下妻小学校)



消防署員の指導で消火器を体験する参加者

平成7年1月の阪神・淡路大震災、平成23年3月の東日本大震災を受け、南海トラフ巨大地震でも大きな被害が想定されることから、いざという時に地域で備えようと大町町内会で防災訓練が行われました。

大町コミュニティセンターの駐車場には、地域の子供から高齢者まで約70人が集まり、消火器の使い方などを訓練したほか、下妻消防署が設置した「煙体験ハウス」で煙の中で動く大変さなど経験しました。

「初めて消火器を使った。重かったけど、使えるようになってよかった」と子ども会で参加した小学3年の男子。寺尾法誉・町内会長からは「今後、首都直下地震等のさまざまな災害に対する備えが万全となるよう東京都が作成した防災ブックの『東京防災』を全286戸に配布していきたい」と話が聞けました。

大町町内会防火訓練 2月28日

いざというときに地域で備える

## 桜の季節へ砂沼を清掃

砂沼をきれいにする運動 3月13日

下妻のシンボルである砂沼をきれいに保とうと「砂沼をきれいにする運動」が、砂沼周辺で行われました。

市内の各種団体や砂沼周辺の自治会などから527人が参加。遊歩道や護岸から拾い集められたごみは、可燃ごみ530キロ、不燃ごみ220キロにもなりました。

毎年参加するという70代の男性は「よく見ると意外とごみは落ちているもの。桜が咲く前にきれいにできてよかった」と、ごみでいっぱいになった袋を両手に下げていました。

茨城百景にも選定されている砂沼は、これから桜やハナショウブ、アジサイなどが彩りをみせ、県内外から多くの観光客が訪れます。



遊歩道や護岸のごみを拾い集める参加者

## ポピー咲かせたい 水害からの復興

鬼怒フラワーライン草取り交流会 3月13日

花と万人の会(花万)主催による草取り交流会が、鬼怒川大形橋上流左岸河川敷の花畑「鬼怒フラワーライン」で開催されました。

青龍学校少年団や保護者、地元関係者など約80人が参加し、花の種から芽を出したのか、雑草なのかを見分けながら鎌や手作業で丁寧作業しました。

同花畑は、平成27年関東・東北豪雨の影響で冠水被害に遭い、花万メンバーが総出で復旧作業に取り組みました。重機で畑をならし、雑草対策のマルチシートを貼りました。

花万の飯島会長は「花とふれあいまつりの25周年という節目を迎える時期の水害だったが、伝統を絶やさないように花だけでも咲かせたいという思いで復旧作業に取り組んできた。今年のまつりでも例年どおりのポピーが見られると思う」と笑顔を見せていました。

第25回花とふれあいまつりは5月15日(日)午前10時から、第20回鬼怒川流域交流Eポート大会と同日開催されます。



花万メンバーのほか地元住民、小学生も参加しました

## まちのきれいな景観を取り戻す

落書き消しボランティア 3月26日

小貝川に係る祝橋の橋脚で、落書きを消す活動がありました。市内で塗装業、建設業、造園業などを営む30~40代の若手経営者など10人が、まちのきれいな景観を取り戻そうと「下妻をきれいにし隊」を平成28年3月に結成。手始めの活動となった落書き消しでは白いペンキで手際よく、さまざまな落書きを消していきました。

約3時間の作業に汗を流した森隆幸隊長は「地域で困ったことがあれば、落書き消しだけでなく、道路沿いの除草などもまちがきれいになるようになっていきたい。この美化活動が広がるよう仲間も募集しています」と今後の意気込みを語りました。



手際よく落書きを消していく隊員たち



野菜切りで子どもをやさしくサポートするお父さん

## パパと簡単お菓子づくりチャレンジに挑戦

パパとクッキング 3月5日

親子のふれあいを深め、男性の家事・育児への参加を目的にお父さんとお子さんによる料理教室が千代川公民館の調理室で開催され、市内の親子8組18人が料理を楽しみました。

調理は、3月14日のホワイトデーにちなんで、家族に日ごろの感謝の気持ちを込めてプレゼントとして持ち帰ることができる簡単なお菓子をつくらうと「キャロットケーキ」「季節のゼリー」に挑戦。市内で料理教室を開いている講師のもと、料理の豆知識などを学びながら親子で楽しく調理しました。

キャロットケーキで使う人参のみじん切りでは「私がやる」と張り切る子どもたち。途中で力が入らなくなると、後ろから包丁に手を添えて、親子一緒に作業するお父さん。「パパ、かっこいい」と子どもの一言に、やさしく微笑み返す父親の顔がありました。

調理を終えた40代の父親からは「『ママはいつも大変なんだね』と子どもに言われ、パパも頑張らなきゃと感じた」と家事・育児へ積極的に参加していく意気込みが聞けました。

### スポーツ & カルチャー

がんばる小・中学生!!

**小学生**

- 第12回全国小学生学年別柔道大会茨城県予選会  
優勝 小学5年女子40kg超級  
青田れもん(下妻優心塾) 【全国大会出場】
- 第28回県西地区ミニバスケットボール新人大会  
優勝 女子の部  
下妻ミニバスケットボールスポーツ少年団
- 第29回古河市ミニバスケットボール交流大会  
ウィンターカップ  
優勝 下妻ミニバスケットボールスポーツ少年団
- 第33回豊岡フレッシュカップ  
優勝 下妻ミニバスケットボールスポーツ少年団

～女性参加の地域力UP!～

# 下妻市まちづくり女性スタッフ提言式

まちづくり女性スタッフ(第10期)14人は3月23日、女性の目線から考えた「人にやさしい夢のあるまちづくり」の意見などをとりまとめた提言書を、稲葉市長に提出しました。

2年間にわたり、行政の現状に関する勉強会や現地視察を重ね、市の活性化につながる取り組みを話し合いました。特に平成27年9月関東・東北豪雨の体験から地域のつながりの大切さを再確認し、「地域力UP!」をキーワードに、4つのテーマで提言しました。



## 提言の概要

### ■ 未来につなげる地域防災

- ・ 防災マップの災害予想地域の再点検と避難所の見直し
- ・ 自主防災組織制度の周知と組織づくりの推進など

### ■ 地域にやさしい公共交通

- ・ 高齢者タクシー利用券の一回に使用できる金額を自由にするなど、利用者のニーズに応じた制度への見直し
- ・ コミュニティバスを導入し、いつでも行きたいときに出掛けられる、きめの細かい運行計画の整備など

### ■ 絆を強めるたまり場づくり

- ・ たまり場(気軽に立ち寄れる居場所)を市民の力で運営できる仕組みづくりと場所の提供
- ・ ひとり暮らし高齢者給食サービスの自宅へ届けることに併せ、地域のコミュニティセンターに集まって食事をを行い、交流を図るなど

## ■ 市民の意識を高め観光・産業を活性化

- ・ 市のイベントに、はとバスツアーや観光バスを誘致する
- ・ 市の良いところをインパクトのある方法で全国に向けてPRを行う など



女性スタッフ提言書

提言書の提出にあたり、関口妙子座長からは「地域のつながりが薄れてきていると言われていますが、昨年9月の水害を受け、地域力の重要性をスタッフ全員が身をもって実感し、その地域力をさらに向上させ、次世代へつなげていこうという思いにあふれました。行政にできること、私たちにできること、役割分担があります。私たちにできることは小さなことですが、それらが集まったとき、大きな地域の力になることを確信しています」とあいさつがありました。

提言書の内容をテーマごとに稲葉市長に説明し、意見交換を交わす中で、女性スタッフからは「人と人のつながりの大切さや市と市民の協力体制が重要」との意見が強調されました。

市では、これらの提言を受け、「地域力の再生」と「下妻市の魅力度アップ」を目指して、市民の皆さんと市が信頼しあい協働してまちづくりを進められるよう、提言を市政に取り入れていきたいと考えています。

問い合わせ 市民協働課 ☎43-2114

有料広告欄

## 下妻駅前広場に花いっぱい「立体花壇」登場



花のポットで立体花壇を飾る参加者

下妻駅前広場で3月26日、花のまちしもつまをアピールしようと市が設置した「立体花壇」に初めて花植え作業が行われました。地元の老人会ゆうゆうクラブのメンバーや関東鉄道スタッフ、市職員など26人が彩りを考えながら花のポットを立体花壇にはめ込みました。

高さ2.3メートル、幅5メートルの立体花壇は、壁の両面1184か所に花のポットを植えることができ、水やりはタイマーで管理されています。ゆうゆうクラブ会長の石川恒雄さんは「下妻駅に降りた人たちが、この花壇を見て気持ちが和らぎ、きれいと感じてくれたらうれしい」と鮮やかに彩られた立体花壇を見上げていました。

立体花壇は年2回程度、季節の花に植え替えを行い、いつでも花いっぱいの駅前が下妻を訪れる人たちの目を楽しませます。

## いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会 翔べ 羽ばたけ そして未来へ

## 「いばらきスポーツアカデミー・ソフトボール体験教室」開催

平成31年に開催する茨城国体に向けて、将来の選手として活躍が有望視される子どもたちを発掘し、計画的に育成・強化することを目的とした「いばらきスポーツアカデミー・ソフトボール体験教室」を2月27日、千代川運動公園野球場で開催しました。

講師に女子ソフトボール競技の北京五輪・金メダリストで、2014年全日本大学女子ソフトボール選手権に優勝した東京国際大学女子ソフトボール部監督の三科真澄氏を迎え、県内の中学女子ソフトボール部員を中心に参加した総勢149人が実践的な技術を学びました。

午前中はキャッチボールやボール回しなどの基本動作にはじまり、午後からはバッテリーと野手に分かれてのポジション別の専門的な技術指導や、女子大生投手の迫力ある投球を打席に立って体験したり、三科氏によるバッティングの実演を見学したりと、子どもたちは真剣な表情で取り組んでいました。三科氏の熱心な指導には、東京国際大学女子ソフトボール部と下妻二高女子ソフトボール部の選手たちも指導補助として加わり、子どもたちと一緒に実技やゲームなどを通じて体験教室を盛り上げました。

体験教室の最後に設けられた質疑応答で、「試合中、流れを自分のチームに引き寄せる秘訣はあるか」との女子中学生の質問に、三科氏は「たとえ失敗しても、チーム全体でカバーできるような雰囲気づくりを心がけること。どんな試合展開になっても、決してあきらめない、強い心

を持って試合に臨むこと、この2点がしっかりできていれば試合の流れを引き寄せることができる」などと熱く語り、技術の向上だけでなく、メンタル面の重要性も伝えました。

閉会式で、茨城国体での活躍を目指す子どもたちを前にした三科氏は「常に『感謝の気持ちを忘れない』ということをお願いしたい。今日学んだことを一つでも継続して平成31年の茨城国体で結果を残してくれればうれしい。みんなでソフトボールの輪を広げてほしい」とエールを送りました。

問い合わせ 生涯学習課 ☎45-8100



子どもたちの前でスローイングの基本動作を指導する三科氏

有料広告欄



# わがやの にんきもの

このコーナーでは、市内在住の1～3歳までのお子さんの写真に、お父さん・お母さんのコメントをつけて紹介しています。誕生日など、思い出の1ページとしていかがですか？ご希望の方は、【秘書課・広報広聴係 ☎43-2112】までご連絡ください。



こうき  
**吉江 晃輝**ちゃん

修一・知子の二男 大串

吉江家の末っ子として、お兄ちゃんとお姉ちゃん、周りのみんなから愛情たっぷり受けて、すくすく育っている晃ちゃん。

最近では、お話しもとっても上手になり、会話がとっても楽しいよ。

これからも、笑顔をたくさん見せて、みんなを幸せにしてね。



ゆかな  
**石島 結奏**ちゃん

広基・紫乃さんの長女 二本紀

好奇心旺盛でいろいろなことにチャレンジして、一日中動き通しのパワフルな結奏。

ママの家事の真似っこ、パパとブロック遊び、じーじやばーばに絵本を読んでもらったりと、毎日楽しそうに過ごしています。

すくすく元気に育って人に恵まれる子になって欲しいな。



ひな  
**鈴木 日菜**ちゃん

進・朋子さんの長女 下栗

お兄ちゃんと10歳離れて生まれた日菜ちゃん。みんなに可愛がられ、ちよっぴりおてんばさんかな！

ポポちゃん(人形)のお世話をする日菜ちゃんは、ミルクをあげたり、おしりを拭いたり、やさしいお姉ちゃんぶりで、思わずほほ笑んでしまいます。

これからも、元気でやさしく、仲良い兄弟でいてね。



# 口頭詩

子どもの純粋な心のつぶやき



いずみた あかり  
4歳3か月時点  
(大宝幼稚園)

あつにこにこわらったよ  
そらまめさん おきてー  
そらまめさん  
フカフカおふとんでねてたんだ  
そらまめのおうち

【解説】  
一緒にそら豆の皮むきをした時のつぶやきです。温かい気持ちになり、いつも以上に美味しく食べる事ができました。  
採集 母 和泉田美穂

# 法泉寺保育園

きっと明日はいい天気♡



◀年長児(ゆり組)の皆さん



♪虹が虹が空にかかって～ 君の君の気分も晴れて～♪と、大好きな「にじ」の歌を口ずさみながら制作に取り組みました。たくさんのお花は折り紙、野原は手形でスタンプ、蝶々はちぎり絵で、そして大きな虹はお花紙をふんわり丸めてかわいい春のできあがりです♡

# From SHIMOTSUMA みんなの ギャラリー

今年、12月に開催される県西の目標としては、10月、12月に開催される県西

## 「ギターは、生涯の友人です」

## わたしからあなたへ

さわやかリレー vol.123

前回登場の太刀川友理さんからの紹介



榎森 保夫 さん(大宝)

ギターを教えて45年、私は今、茨城県生涯学習課よりギター講座の講師依頼を受け、茨城県県西生涯学習センター(筑西市)にて、ギターの独奏、重奏、合奏を週2回にわたり指導しております。受講生の数も数十人で、年代も小学生から70代まで、幅広い層の人たちが学んでおりますので、楽曲の選択、弾き方など分りやすく教えております。

今年の目標としては、10月、12月に開催される県西の目標としては、10月、12月に開催される県西

# 市民文芸

## 俳句

洞奥にマリア観音冴え返る 平石 律子(下田)  
啓蛰や北海道へ新幹線 鈴木 素香(下妻丁)  
焼芋屋花の津軽へ帰りけり 木村まり子(加養)  
竹やぶに宿を決めるか寒雀 染野 清平(皆葉)

## 短歌

春浅く友の持ち来る甘酒に 飯泉 淑子(原)  
悼みし胸の温みて安らぐ  
花の香にあぶるる空を黒雲の 倉田 淑子(原)  
湧きて流れて吹く春嵐  
斑雪のあはひに小さきさみどりの 増田 啓子(下妻乙)  
落の臺見る春真近なり  
裸木となりてしづまる公園に 山本せい子(下妻丙)  
一幅の絵のごと冬さくら咲く  
亡き夫と花見帰りの終電の 木村 りん(下妻乙)  
駅より仰ぎしうすき星影  
おのづから芽萌えまもるや露の臺 須藤恵美子(前河原)  
幾重にもなる苞やはやはし

有料広告欄

有料広告欄

相談ごと

◆行政相談

日時 5月13日(金) 午後1時30分～3時30分  
場所 千代川公民館 1階 小会議室  
日時 5月20日(金) 午後1時30分～3時30分  
場所 下妻公民館 1階 和室  
問合せ 秘書課 ☎43-2112

◆人権相談

日時 5月20日(金) 午後1時30分～3時30分  
場所 下妻公民館 2階 小会議室  
問合せ 人権推進室 ☎43-8246

◆こころの健康相談

日時 5月11日(水)・25日(水)  
午後1時～4時(予約制)  
場所 市役所第二庁舎 3階 小会議室  
問合せ 福祉課 ☎43-8352

◆消費生活相談

日時 月・火・木・金曜日(毎週)  
午前9時～正午 午後1時～4時30分  
日曜日(5月29日)  
午前9時～正午  
場所 下妻市消費生活センター(千代川庁舎内)  
問合せ 下妻市消費生活センター ☎44-8632

◆納税相談

・夜間納税相談  
日時 5月12日(木) 午後5時30分～7時30分  
・休日納税相談  
日時 5月29日(日) 午前8時30分～午後5時  
場所 市役所本庁舎 1階 収納課  
問合せ 収納課 ☎43-8274

◆法律相談

日時 5月10日(火)・17日(火)・24日(火)  
午後1時30分～3時30分  
※事前に予約が必要です(当日不可)  
場所 市役所第二庁舎 3階 大会議室  
問合せ 下妻市社会福祉協議会 ☎44-0142

人口と世帯

4月1日現在の常住人口

人口 43,011人  
男 21,446人  
女 21,565人  
世帯数 15,028世帯

※平成27年国勢調査の速報値を基準にしています

テレホンサービス

◆火災・災害のとき ☎0296-44-3111  
◆市役所などの行事・催物 ☎0296-43-4000

健康カレンダー Health Calendar 5月1日～5月31日

5/1 日	在 軽部病院	夜 小 西南
2 月		小 西南
3 火	在 菊山胃腸科外科医院	夜 小 西南
4 水	在 湖南病院/とき田クリニック	夜 小 友愛
5 木	在 浅田医院	夜 小 西南
6 金	ぴよぴよ教室(10:00～10:30) 5か月児健診(平27.11月生13:15～13:30)	小 古河
7 土		夜 小 西南
8 日	在 古橋医院	夜 小 西南
9 月		小 西南
10 火	元気アップ教室(9:15～10:00)	小 西南
11 水	カミカミ離乳食教室(予約制13:15～13:30)	小 西南
12 木	3歳児健診(平25.2月生13:15～13:30)	小 西南
13 金	1歳6か月児健診(平26.10月生13:15～13:30)	小 古河
14 土		夜 小 西南
15 日	在 まつだこどもクリニック	夜 小 西南
16 月		小 西南
17 火	2歳児歯科健診(平26.3月生13:15～13:30)	小 西南
18 水	特定健診〈基本健診〉 (下妻保健センター 9:30～11:30、13:30～15:00)	小 友愛
19 木	特定健診〈基本健診〉 (千代川公民館 9:30～11:30、13:30～15:00) キッズくらぶ〈親子リトミック〉(10:00～10:30) すくすく相談(予約制13:30～)	小 西南
20 金		小 古河
21 土		夜 小 西南
22 日	在 三津山クリニック	夜 小 友愛
23 月		小 西南
24 火		小 西南
25 水	特定健診〈基本健診〉 (千代川公民館 9:30～11:30、13:30～15:00) 後期マタニティクラス(予約制13:15～13:30) ママサロン(13:30～15:30)	小 西南
26 木	特定健診〈基本健診〉 (千代川公民館 9:30～11:30、13:30～15:00) すくすく相談(予約制13:30～)	小 西南
27 金	特定健診〈基本健診〉 (下妻保健センター 9:30～11:30、13:30～15:00)	小 古河
28 土		夜 小 西南
29 日	在 平間病院	夜 小 西南
30 月	特定健診〈基本健診〉 (下妻保健センター 9:30～11:30、13:30～15:00)	小 西南
31 火		小 西南

在 休日在宅当番医 午前9時30分～午後4時

軽部病院	☎44-3761	古橋医院	☎44-2792
菊山胃腸科外科医院	☎44-2014	まつだこどもクリニック	
湖南病院/とき田クリニック			☎30-5558
浅田医院	☎44-2556	三津山クリニック	☎48-9131
	☎44-3957	平間病院	☎43-5100

夜 夜間応急診療所 下妻保健センター内 ☎43-1990

土・日・祝日(1月1日を除く):午後7時～翌朝7時

小 小児救急当番医

月・火・水・木・金・土曜日:午後6時～午後11時  
日曜・祝日:午前9時～午後4時

小児輪番病院は、入院治療を必要とする子供の救急医療を行っています。受診される際は、医療機関に必ず事前に電話でご相談ください。

- ・西南…茨城西南医療センター病院(境町2190)☎0280-87-8111
- ・友愛…友愛記念病院(古河市東牛谷707)☎0280-97-3000
- ・古河…古河赤十字病院(古河市下山町1150)☎0280-23-7111

新教育長に横瀬晴夫氏



横瀬晴夫氏(坂井)が平成28年第1回市議会定例会で同意を得て、新教育長に任命されました。横瀬氏は、県教育庁教育次長や下妻中学校長などを歴任。任期は平成28年4月1日から平成31年3月31日までの3年間です。

青柳正美教育長が退任



下妻市教育委員会教育長の青柳正美氏(鎌庭)が平成28年3月31日付で退任されました。青柳氏は、平成19年4月1日から教育長として9年間、市の教育行政の推進に尽力されました。

人事異動 2016

4月1日付で、市職員の人事異動を行いました。掲載は、課長級以上の職員、退職者および新規採用者です。

人事体制では、議世事務局長を部長級にしました。組織体制では、経済部「産業振興課」の名称を「商工観光課」に変更し、生涯学習課に「国体推進室」を新設しました。

部長級

- 中山 義則 (市長公室長)
- 菊池 正行 (総務部参事)
- 齊藤 敏 (消防交通課長)
- 飯村 孝夫 (議世事務局長)

退職者(平成28年3月31日付)

- 木村 宇一 (経済部長兼産業振興課長)
- 渡辺 弘子 (建設課主任)
- 中里 京子 (下妻小学校調理員)
- 武田 佳奈 (きぬ保育園保育士)
- 國府田悠葵 (総務課主事)

課長級

- 倉持 総男 (秘書課長)
- 岡本 俊彦 (消防交通課長)
- 保健福祉部 横瀬 哲彦 (福祉課副参事兼人権推進室長)
- 黒須 武 (産業振興課長補佐兼商工係長)

新規採用者

- 飯塚 康 (税務課)
- 大畑 美樹 (保険年金課)
- 平山奈津賀 (保健センター)
- 櫻井 瑞貴 (建設課)
- 野々垣 徹 (上下水道課)
- 西村あす香 (ちよかわ幼稚園)
- 小林 大樹 (指導課)

有料広告欄